

# 7月1日はAEDの日

☎ 保健予防課 Tel.0299-92-0141



心停止の予防 早期認識と通報

傷病者(けが人や急病人)を発見した際には、いかに早く救命処置(心肺蘇生とAED)をおこなうかが生死を分けることになります。迅速に救命処置をおこなうことができるように、AEDの使い方を確認しましょう。



一次救命処置(心肺蘇生とAED) 二次救命治療と集中治療

## コンビニ設置AED

市内のコンビニエンスストアの各店舗にAEDを設置しています。設置店舗には入口などに右のステッカーが貼ってあります。設置店舗一覧など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



## プライバシー保護用三角巾

市内の公共施設とコンビニエンスストアに設置しているAEDのケース内に、三角巾を配置しています。三角巾はプライバシー保護のためだけでなく、患部の保護や固定などにも使用できます。

また、AEDの使用に伴う脱衣は一次救命処置に必要な行為であり、セクシャルハラスメントなどの罪に問われることはありません。傷病者を見かけたら、救命処置を最優先にしましょう。

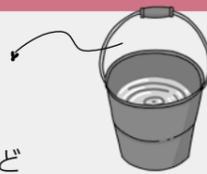
# ヒトスジシマカに注意!

☎ 保健予防課 Tel.0299-92-0141

暑い時期になると発生する蚊。特にヒトスジシマカはデング熱やジカウイルス感染症などを媒介します。蚊が媒介する感染症のリスクを減らすには、「蚊をできるだけ発生させない」「蚊に刺されない」ことが大切です。蚊が多いやぶなどに近づくときは、虫除け剤を使ったり、長袖・長ズボンを着用したりするようにしましょう。

## 要注意! 蚊の発生源

- バケツなど水のたまった容器
- 植木鉢の水受け皿
- 雨どいや排水溝の詰まり
- 手入れをしていない雑草や樹木 など



雨が上がった後などには、こまめに水を捨てましょう。

※散水用などに水をためている場合も、定期的な交換が必要です

# 予防接種はお済みですか?

☎ 保健予防課 Tel.0299-92-0141



予防接種を受けることで、感染症に対する免疫が高まり、重症化を防ぐことができます。秋以降は風邪をひきやすくなり、予防接種を予定どおりに受けられなくなる場合があります。

また、接種期限を過ぎて接種する場合は、**全額自己負担(有料)**となります。お子さんの年齢(月齢)と予防接種の種類を確認し、無料で受けられる期間に早めの接種を心がけましょう。なお、接種間隔が規定と異なる場合も、全額自己負担となりますのでご注意ください。

※すべて医療機関での個別接種です。現在、集団接種はおこなっていません



## 乳幼児期に受ける予防接種

予防接種の種類	望ましい接種年齢(月齢)	接種期限	回数と標準的な接種間隔
BCG	生後5~8カ月未満	1歳未満	1回
B型肝炎	生後2~9カ月未満	1歳未満	3回(27日以上の間隔を置いて2回。さらに、1回目接種日から139日以上の間隔で1回)
小児用肺炎球菌ワクチン※1	生後2~7カ月未満に接種開始	5歳未満	【初回】3回(27日以上の間隔で接種) 【追加】1回(1歳以上で初回終了から60日以上の間隔)
ロタ	生後2カ月~14週6日まで に接種開始	【1価】生後24週0日まで 【5価】生後32週0日まで	【1価】2回(27日以上の間隔で接種) 【5価】3回(27日以上の間隔で接種)
五種混合※2	【初回】生後2~7カ月未満 【追加】1歳~2歳6カ月	7歳6カ月未満	【初回】3回(20~56日の間隔で接種) 【追加】1回(初回終了から6カ月~1年6カ月) (四種混合とHibで別々に接種の場合あり)
MR(麻しん・風しん)混合	【第1期】1歳~1歳3カ月未満 【第2期】小学校就学前の1年間	【第1期】2歳未満 【第2期】小学校就学前の3月31日まで(※3)	【第1期】1回 【第2期】1回
水痘	1~3歳未満	3歳未満	2回(1回目の接種後、6~12カ月の間隔で接種)
日本脳炎(第1期)	【初回】3~4歳未満 【追加】4~5歳未満	7歳6カ月未満(※4)	【初回】2回(6~28日の間隔で接種) 【追加】1回(初回終了から1年後)

- ※1 望ましい接種年齢を過ぎて接種を開始した場合、初回接種の接種回数が変わります。詳しくは、かかりつけの医療機関か保健予防課へお問い合わせください
- ※2 2024年4月から五種混合ワクチンが定期接種となりました。すでにHibワクチン、四種混合ワクチンで接種を開始している方は、基本的に同じ種類のワクチンで接種を完了してください
- ※3 ワクチンの供給不足により期間内に接種できなかった方の接種期間が2027年3月31日まで延長されています  
対象 第1期: 2022年4月2日~2023年4月1日生まれ 第2期: 2018年4月2日~2019年4月1日生まれ
- ※4 2005年4月2日~2007年4月1日生まれの方は、現時点で19歳まで接種できます

このほか、9~13歳未満で日本脳炎(第2期)、11~13歳未満で二種混合、小学6年~高校1年生相当の女子を対象にHPVの接種を実施しています。

また、HPVキャッチアップ接種対象者(1997年4月2日~2009年4月1日生まれの女性)のうち、2022年4月1日~2025年3月31日にHPVワクチンを1回以上接種した方を対象に、2~3回目接種の接種期間が2026年3月31日まで延長されています。